・ソフトの概要

このソフトは、web上でのリバーシの詰め問題の画像をpngファイルで保存したものを取り込み、それをSolveボタンで、回答を得たり、ソフト相手に、挑戦できたり、保存できたりします。

・作者への連絡先(メールアドレス、掲示板 等)

kojiro\_i6191＠yahoo.co.jp

・取り扱い種別(フリーソフト、シェアウェア 等)

フリーソフトです。

・動作環境

Windows11で動作確認しております。

１）このソフトは、マイクロソフト社のVisual Basicで作られています。普通のWindows11マシンでは、そのまま動きますが、もし動かない場合は、

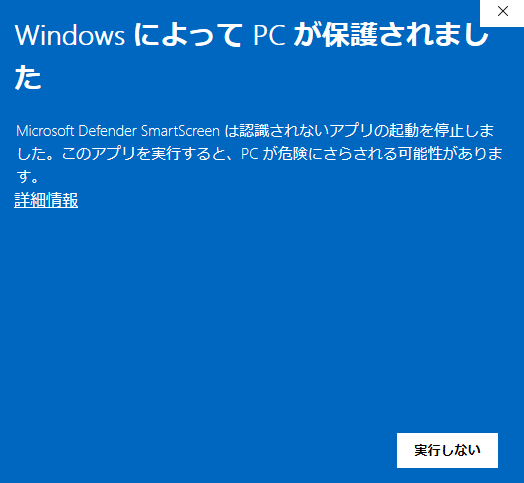
<https://dotnet.microsoft.com/download/dotnet-framework>

にあります、「.NET Framework」のランタイムのソフトをインストールしておく必要があります。

２)McAfeeなどのセキュリティソフトで、削除されてしまいます。それを防ぐにはMcAfeeの場合、 **McAfeeを開く**:

* タスクバーのMcAfeeアイコンを右クリックし、「McAfeeセキュリティを開く」または「McAfee Total Protection」を選択して開きます。
* McAfeeのメイン画面で、右の上から４番目の、「保護」をクリックして、「リアルタイムスキャン」に進み、「除外するファイル」へ、例外に追加したいファイルやフォルダーを指定します。

３）R\_showが実行ファイルですが、ダブルクリックすると最初は



が表示されます。

ここで、詳細情報をクリックしてから、実行キーを押すと、アプリが実行されます。

・インストール・アンインストール方法

インストール：zipファイルを解凍して、デスクトップ上などに、置いてください。

アンインストール：フォルダごと、削除してください。ただし、棋譜のデータも削除されますので、CSVファイルは、バックアップした方が良いでしょう。

使用方法

概略：

web上の画像ファイルの取り込み方：

例えばオセロJAPANにある、詰めオセロ問題を含んだ、おおまかな大きさ画像をPCでハードコピーして、ソフトのペイントを開き、コピーして、test.pngとかいった名前に、保存します。

R\_show.exeをクリックして、ソフトを起動します。CSVファイルを開いていると、起動しません。Picturesのボタンを押します。新たな大きなボードが、現れます。その右の大きなボックスに、エクスプローラーを利用して、先ほど保存した、ドキュメントのtest.pngをドラッグアンドドロップします。

オセロの詰め問題画像が、このボックス内にあれば、よろしいです。

ここからが、繊細な動きと、根気が必要になります。

このボックス内のオセロ盤、8×８マスの、画像の部分を取り出す作業です。８×８マスの画像の一番左上にマウスのカーソルを置き、左クリックのまま、８×８マスの右下の角まで、マウスを動かします。そして、角まで来たら、マウスの左クリックを離します。

その範囲指定した部分が、左上のボックス内に表示され、うまく認識されますと、下のテキストボックス内に、記号（詰めオセロ問題の盤の状態）が表れます。

範囲指定が失敗した場合は、右の大きなpng画像をクリックするだけで、何度でも、範囲指定をやり直すことができます。

うまくできたと思ったら、R\_show.exeのソフトに戻ります。このソフトのテキストボックス内にも、同じ内容の記号が入力されています。

Startボタンを押してください。詰め問題のオセロ盤が、表示されます。もし間違った場面が表示される場合は、picturesボタンを押して取り込んだ、オセロ盤の認識が、うまくいっていないことになるので、やり直してください。

追記：この状態で、送りたいボタンを押して、Memoにボタンの表題を書いて、Send dataボタンを押せば、データは送られます。後に記述するa)の操作はいりません。

この記号を選択してコピーから、NBoardがあれば、それを開いてedit->Paste Boardとすれば、NBoard内にも同様の盤面が表れます。

このまま、R\_show.exeのソフトで、オセロ盤をクリックして、遊ぶこともできます。うまくできたときには、Congratulation!と解いた時間が表示されます。うまく解答手順に至らなかった時には、It’s your loss. が表示されます。Startボタンを押すと、最初の盤面に帰りますので、何度でも挑戦できます。

PCに正解手順を示したいときには、初期の詰めオセロ盤面から、右下のSolveボタンを押すと、解答手順がMemoボックスに出ます。複雑な盤面では、何通りか、正解手順がありますが、その内の一つが出ます。

１０個空きの問題の完全解答を求める場合には、CompleteにチェックをいれてSolveボタンを押します。枝分かれのところで、選びながら進むと、思う回答がMoveボックスに得られるようにしています。しかし、10個空きの問題は、時間がかかります。

説明を、現在のtest.pngから求めた、詰めオセロ盤面に、戻ります。

a)Startボタンの下のAuto Autoと２つ、クリックして選べるようになっています。左のAutoは、a,b,c,d・・・・、右のAutoは、1～26です。これは、この盤面を送るボタンの指定を行うものです。a,b,c,d・・は、aが、W5の列、ｂがB6、cがW7というようになっています。右の1～26は上から数えて何番目かになっています。メモのところへ、ボタンのタイトルを記入して、Send dataボタンを押すと、データがボタンに送られます。この後は、そのボタンを押すと、同じ盤面を出すことができます。Auto AutoのままSend dataボタンを、押すこともできます。タイトルはdummyとなり、適当な箇所へ送られます。

W5は一応白番５個空き、B6は黒番６個空き・・、その他はOthersといった形で整理されると、よいかと存じます。

ボタンの左はチェックボックスになっていて、チェックを入れたり外したりできます。ボタンのタイトル（）の（）内の数字は、何回チャレンジしたかの、数字が出ます。

右上のInput Modeは途中場面を入力するmodeで、Output Modeは、その途中場面からの手順を練習したり、自動再生したりするmodeです。このラジオボタンを

選ぶことで、２つのModeを切り替えます。

基本的に、詰め問題は、W5（白番5個空き）、B6（黒番6個空き）、W7（白番7個空き）、B8（黒番8個空き）、W9（白番9個空き）、B10（黒番10個空き）です。

それぞれについて、ソフトが判断し、下のボタンの選択をしなくても、決まったところへ、自動的に送られます。その他が、もしあれば、それも、送られます。

縦の列の先頭のラベルに、記載されています。

右上のSet Modeにチェックを入れて、SetUpでBlack Discにチェックが入った状態で。盤の中で、適当なマス内でクリックすると、黒ディスクが、White Discでは白ディスクが、Blankでは空が表示され、盤面を設定してから左下のPlayボタンで、手番を設定して、startボタンを押すと、画像から得た盤面と同様な手順で、上述のことが行えます。

右上のInitializeボタンは、初期化ボタンです。R\_show.exeのソフトが起動した状態に戻ります。

ボタンの色は、２回間違えるとスカイブルー、４回で他の色（Chartreuse）、６回で黄色、８っ回で赤に変わります。消したい場合は、All Color Clearボタンを押します。

追加事項　2025/1/30

あるボタンの色だけをクリアしたい場合は、Color Clearにチェックを入れ、ボタンを押すだけで、いいです。

ボタンのデータを消したい場合には、ボタンを右クリックしてドラッグアンドドロップで、ボタンの配列領域以外に落とすと消えます。ただし、チェックは消えませんので、手動でお願いします。あるボタンのところで落としますと、そこのボタンと、入れ替わります。

ボタンの表題のdummyは、そのボタンをクリックして、Memoにdummyを新しい表題に直してSend dataを押せば、修正できます。

ボタンの表題に！を入れてSend dataボタンを押すと、ボタンはピンク色になります。表題の!を外すと、ピンク色は消えます。

一番下のボタンは、その列のデータをランダムに表すことができます。できるだけ、列のボタンは、間を置かずに入れましょう。

Version 3.00: 2025/01/30

　　　　　　by kojiro for Reversi fan.